

編集後記

マツダは環境理念として、「クルマづくりにおいて自然との調和を図りながら、地球環境の保護と豊かな社会作り
に挑戦し続ける」ことをあげています。そして同時に、“Zoom-Zoom”のブランドメッセージにのせて「子供のとき
に誰もが感じた動くことへの感動」をお客様へ提供できる商品を開発してきました。

これらのメッセージをこのマツダブランドDNAを体現した商品が、アテンザ、デミオ、をはじめとする新型車で
す。そして今年は新しく進化したロータリエンジンをのせた新型車RX-8がデビューしました。他のクルマとは一線
を画す独特のロータリ・フィーリングは、お客様へ走ることの新しい価値を提供できるものと期待しています。環
境性能も、最新規制以上の排出ガスレベルの達成、スポーツカーで初めてLEV-II Evapo規制に適合する等、世界最
高水準のものにすることができました。

走ることは人間の根源的な喜びであり、人類の進歩、豊かな社会を作ってきた歴史そのものです。みんなが子供
であったころのクルマへの憧れ、夢を提供できる企業でありたい。同時に、緑の地球を守る企業でありたい。この
メッセージを技術を通じての形でお客様へお伝えし提供すること、これが私たちの願いです。

今回のマツダ技報21号では、RX-8、デミオに搭載した最新の技術の特集を取り上げ、より深くマツダのメッセ
ージを伝えたいという主旨で編集を進めさせていただきました。原稿作成時期と開発繁忙期が重なり、多くの方に無
理なお願いをしましたが、技術を伝えることの重要性をご理解いただき快く引き受けていただけました。この場を
借りてご尽力いただいた関係者の方々に謝意を表します。また、本誌は今号よりサイズがB5からA4へ大きく見やす
くなり、表紙のデザインも一新されました。外見も内容も充実しました本誌を、多くのお客様に読んでいただける
ことを祈念してやみません。

(原田靖裕)

編集委員会

委員長	喜田 達也	技術企画部
委員	森山 尚宗	コンセプト・プラットフォーム基本設計部
	安藤 正登	NVH性能開発部
	原田 司	電子開発部
	倉田 直樹	シャシー開発部
	三村 光生	第1エンジン開発部
	原田 靖裕	第3エンジン開発部
	山田 洋史	技術研究所
	部谷 雅幸	生産企画部
	濱田 拓男	生産企画部
幹事	富山 道雄	技術企画部
	大森 正志	技術企画部
事務局	世良 和美	技術研究所
	伊東加奈子	技術企画部

マツダ技報 第21号

発行 平成15年4月21日
発行人 井巻 久一
編集人 喜田 達也
発行所 マツダ株式会社
商品企画ビジネス戦略本部技術企画部
〒730-8670
広島県安芸郡府中町新地3番1号
電話 082(287)4106
印刷所 マツダエース株式会社
広島県安芸郡府中町新地3番1号

Mazda Technical Review No.21

April 2003
Publisher Hisakazu Imaki
Editor Tatsuya Kita
Distributor Technology Planning Dept.
Product Planning & Business
Strategy Div.
Mazda Motor Corp.
3-1 Shinchi, Fuchu-cho Aki-gun,
Hiroshima 730-8670, Japan

©禁無断転載